

第2次亀山市消防力充実強化プランに関する実績等報告書(令和元年度)

(消防本部 消防総務課)

■計画の基本情報

計画期間	H 29 ～ R 3 年度
位置付け	本プランは、消防組織法第4条第15号に基づく消防計画及び「第2次亀山市総合計画」の消防分野における計画として位置付けている。また、第2次亀山市総合計画前期基本計画との関連は、基本施策「安全・安心なまちづくりの推進」と深く関わり、⑤消防力の充実強化の部分を補完するものである。
目的・概要	本プランは、亀山市消防本部の充実強化を図り、市民の生命、身体及び財産を火災から保護し、災害による被害を軽減するために、将来を中長期的に展望し、亀山市消防本部の方向性を明らかにするものとして策定したものである。
計画の骨格	体系図 【基本理念】 市民の安心を支える消防力の充実強化 【基本方針】 【基本方針 1】 消防体制の充実強化 【基本方針 2】 予防体制の充実強化 【基本方針 3】 救急体制の充実強化 【基本方針 4】 消防団の充実強化 【基本施策】 1_消防施設・設備の整備 2_職員の人材育成 3_消防職員の適正配置 4_災害対応力の強化 5_他市消防本部等との連携強化 1_地域消防力の強化 2_防火思想の普及啓発 3_住宅防火対策の推進 4_事業所等の安全対策の推進 1_増加する救急事案への対応 2_市民による救命率の向上 1_消防団の活性化 2_消防団の再編 3_消防団の教育訓練

■成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R1)	目標値
1	「別紙のとおり」				
2					
3					
4					
5					

■計画の実績等

取組実績	県消防学校での教育課程や県メディカルコントロール協議会が主催する教育研修に職員を派遣し、職員の人材育成を行った。また、消防タンク自動車の更新や耐震性貯水槽の新設を行い、消防施設、設備の充実に努めた。鈴鹿市とのはしご自動車の共同整備について協議を進めるとともに、津市、鈴鹿市と通信指令業務の共同運用に向けての研究を開始した。消防フェスタの開催や各種イベントへの参加を通じて、防火思想を啓発した。さらに、当市少年消防クラブが全国交流大会に初参加し、防火・防災の輪を広げる次世代のリーダーの育成に努めた。一方、地域の消防防災力の充実強化を図るため、消防団活動に積極的に協力している事業所等に対し、消防団協力事業所の認定を行うとともに、消防団員の活動服を更新した。															
成果	様々な教育課程等へ職員を派遣することで、職員の技能を向上させるとともに、市民等による心肺蘇生法の実施率を高めることができた。また、消防タンク自動車の更新や耐震性貯水槽の新設を行うことで、消防施設、設備の充実に繋げることができた。鈴鹿市とのはしご自動車の共同整備については、次年度の整備に向け、連携協約を締結した。少年消防クラブの全国交流大会への参加により、様々な地域の少年消防クラブ員と親交を深めることができた。また、防火フェアで報告会を実施し、来場者に対して防火思想の普及をすることができた。消防団協力事業所の新規認定により、消防団活動がより実施しやすい環境を整えるとともに、活動服の更新により、より安全な消防活動を実施できる体制を整備した。															
総合計画 推進への 寄与度	第2次亀山市総合計画前期基本計画 1.快適さを支える生活基盤の向上 (6)安全・安心なまちづくりの推進 【成果指標】 <table><thead><tr><th></th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>R1年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>・火災出動に関する平均所要時間</td><td>12分53秒</td><td>12分00秒</td><td>13分45秒</td></tr><tr><td>・救急出動に関する平均所要時間</td><td>39分55秒</td><td>37分00秒</td><td>40分46秒</td></tr></tbody></table>					現状値	目標値	R1年度	・火災出動に関する平均所要時間	12分53秒	12分00秒	13分45秒	・救急出動に関する平均所要時間	39分55秒	37分00秒	40分46秒
	現状値	目標値	R1年度													
・火災出動に関する平均所要時間	12分53秒	12分00秒	13分45秒													
・救急出動に関する平均所要時間	39分55秒	37分00秒	40分46秒													

反省点・課題	本プランの目的を達成するために掲げた基本施策の取組を推進し、前期基本計画の成果指標として設定した火災・救急出動に関する平均所要時間を、昨年度の実績と比べ短縮することができた。今後は、さらに個々の取り組み内容を精査し、成果指標の達成を目指す。
--------	---

今後の方向性	本プランは令和3年度末までとなることから、個々の取り組みを着実に推進するとともに、社会情勢の変化に応じて必要な取り組みを検討していく必要がある。
--------	---

■成果指標一覧表

成果指標名			現状値	実績値 (R1)	目標値
		単位			
1	防火水槽設置数	基	430	440	440
2	救急救命士搭乗率	%	99.8	100	100
3	中型免許取得率	%	75.9	82	93
4	消防用設備設置率	%	51.2	51.8	53
5	防火診断実施世帯数	世帯	400	220	800
6	住宅用火災警報器設置率	%	75.6	80.0	100
7	被搬送者軽症率	%	49.3	51.2	48
8	特定行為評価適切率	%	100	100	100
9	バイスタンダー心肺蘇生法実施率	%	33.3	55.8	50
10	消防団員充足率	%	97	94.5	100
11	消防団協力事業所認定数	事業所	8	11	16
12	防火衣配備率	%	43.7	100	100